

# 江南市地域公共交通を語る会の開催結果

## 1. 語る会の概要

### (1) 開催日時及び出席者数

開催日と出席者数

日時	場所	出席者数
8月20日(土) 18:30～	布袋ふれあい会館	16名
8月21日(日) 14:00～	古知野西公民館	13名
8月25日(木) 18:30～	中央コミュニティ・センター	12名
8月31日(水) 18:30～	宮田地区学習等供用施設	24名
9月2日(金) 18:30～	古知野北部地区学習等供用施設	15名
小計		80名

### (2) 開催内容

○江南市の公共交通の現状についての報告

○グループに分かれて意見交換

- ・自己紹介と公共交通の利用状況の確認
- ・公共交通の現状報告に対する意見の確認
- ・今後、どのような対応をすべきかについての意見の確認

○各グループの意見の発表、確認

### (3) 開催風景(写真)



## 2. 語る会での主な意見

### (1) 名鉄バスに対する主な意見

#### ○サービス水準・利用環境に対する意見

- ・便数が少ない。本数を増やしてほしい。運賃高い。バス停まで遠い。
- ・バス停に屋根がほしい。バス停環境よくない。
- ・最終便を遅くしてほしい。
- ・鉄道、路線バス相互の乗り継ぎをやすく。
- ・布袋駅の鉄道をバスの接続が悪い。
- ・朝の江南団地から江南厚生病院行きの便数増をしてほしい。江南厚生病院から江南団地に戻る昼の便を増やしてほしい。江南厚生病院への便数が減って不便になった。

#### ○事業改善に対する意見

- ・江南団地から江南厚生病院への利用は少ないのではないか。
- ・江南団地の一周はもったいない。バス停を減らすべき。
- ・江南→一宮方面のルートの見直し（平和堂・滝学園の新たな道路等）。
- ・江南厚生病院からすいとびあ江南は別の手段にした方がよい。
- ・北部エリアは利用しにくい。
- ・フラワーパーク江南に行くバスがない。
- ・車両が大きすぎる。小型バス、ワゴン車ぐらいに小さくすべき。

#### ○補助支援に対する意見

- ・補助金をもっと減らせないか。赤字の多い路線を見直すべき。
- ・補助金投入をやめて、コミュニティバスに切り替えるべき。順次廃止し、コミュニティバスに転換すべき。
- ・赤字バス路線の補助はやめるべき。
- ・利用者負担、応分の負担を考えるべき。
- ・名鉄バスに頼らず、江南市がマイクロバスで交通網を作るべき。
- ・病院、スーパー、駅等をつなぐ、循環するバスを走らせるべき。

### (2) いこまいCARに対する主な意見

#### ○事業に対する意見

- ・なくしてほしくない。
- ・高齢者しか利用できない、年齢制限があるとの間違った認識をしている人が多いと思う。

#### ○制度改善に対する意見

- ・予約がネック。前日予約を当日予約にしてほしい。いつでも予約・呼べるようにしてほしい。
- ・運行時間を延長してほしい。希望は朝6時から夜10時まで。
- ・江南市内だけの利用では、生活圏とあっていない。市外利用を認めて欲しい（柏森駅・商

業施設等)。

- ・使うかわからないので登録しづらい。自動登録ができるように。

#### ○運賃設定に対する意見

- ・定期便よりも運賃が高くなった。空白地域に住んでいる人にとって運賃が高く使えない。
- ・収入のある人は使い勝手が良いが、余裕のない人には負担が重い。所得での減免。
- ・距離の格差を減らしてほしい。周辺部との格差がある。

#### ○バス事業との関係性に対する意見

- ・名鉄バスといこまい CAR の二重投資になっている。いこまい CAR はバスへの乗り継ぎ利用にすべき。
- ・いこまい CAR がバスの利用を減らしている (妨害)。
- ・予約便の利用が多い区間を定期便にすべき。巡回バスにする。

#### ○制度設計等に対する意見

- ・福祉タクシー料金助成との役割分担について再検討すべき。年齢制限すべき (70 歳以上など)。
- ・利用の目的を病院等に制限すべき。目的と緊急性に応じて分類すべき。
- ・制度を再構築する必要がある。
- ・事業運営を第三セクター (個人) 等に移してもよいのではないか。

### (3) 福祉タクシー料金助成制度に対する意見

#### ○制度設計等に対する意見

- ・48 枚では少なすぎる。
- ・対象者の枠の拡大。
- ・対象年齢 (85 歳) を弱者の実年齢に引き下げるべき (75、80 歳など)。
- ・不適切な利用がある (旅行、パチンコ、飲酒時など)。

#### ○事業費等に対する意見

- ・高福祉要求により市の財政赤字拡大。既得権にメスを入れるべき。
- ・福祉有償ボランティア輸送を検討すべき。

### (4) 大口町コミュニティバスに対する意見

- ・便数が少ない。
- ・生活圏を考えると、江南・大口・扶桑で一緒に対応すべき。
- ・バス停に屋根がほしい。暑いし寒い。

#### (5) 交通空白についての意見

- ・空白地がないというのはおかしい。宮田、飛保、鹿子島、草井、勝佐などは困っている。
- ・駅に出るのに20～30分もかかる場所への配慮をしてほしい。
- ・いこまい CAR は公共交通とは言えない、交通空白地域はある。タクシーがあるから空白がないとは言えない。
- ・空白地を解消することが大事。
- ・空白地居住者にアンケートをしてほしい。
- ・空白地への対応は、いこまい CAR のランク分けをして補助投入する。
- ・安心料として地域からの寄付、受益者負担を。
- ・きめ細かいフォロー、福祉政策で。

#### (6) 新たなサービスに対する意見

- ・新しいコミュニティバスを導入すべき。
- ・巡回バスの導入。夜の便の確保。
- ・市で独自にバスを走らせるといくらかかるのか教えてほしい。
- ・ボランティアで対応できるのではないか。地域通貨の仕組みと一緒に。
- ・拠点を選択し、ハブ&スポーク<sup>\*1</sup>としてネットワークをつなぐ。
- ・玄関先まで迎えに来てくれるサービスも必要。
- ・江南駅から江南厚生病院までの無料バスを。
- ・スクールバスの活用を。企業の送迎バスの活用。大口町のように企業との連携を。

#### (7) 駅前整備に対する意見

- ・送迎車両で危ない。
- ・駅周辺の交通規制を行い、混雑緩和を。
- ・駐輪場、駐車場の整備が必要。
- ・駐車場を借りている人用に、公共交通で通勤できるようにしてほしい。

#### (8) 自転車利用についての意見

- ・自転車で気軽に走れる道路がほしい。
- ・裏道の活用、歩道の整備など。
- ・シェアサイクルがあると便利。
- ・自転車専用道路がない。

### (9) 税金投入についての意見

- ・もっと財政投入すべき。
- ・どれくらいまで補助できるか検討すべき。
- ・補助金はもっと減らせないか。コスト削減すべき。
- ・江南市は補助金を出しすぎ。これ以上の投入はだめ。財政負担の歯止めがない。
- ・財政投入のキャップ（上限枠）を決めるべき。
- ・受益者負担にすべき。
- ・企業バスの活用、連携方法の検討を行うべき。大口町のように広告・企業スポンサーを。
- ・市長の退職金など、人件費高い。江南市は貧乏ではない。
- ・財政を豊かにすることが先決。福祉にお金がかかるのは当然。大きな財政計画を。
- ・財政負担、利用状況からみると年々増加しており今後は心配。

### (10) その他全体に対する意見

#### ○評価

- ・公共交通は大変充実していると思う。

#### ○情報提供について

- ・公共交通について十分理解できていなかった。
- ・もっとPRすべき。情報提供すべき。
- ・こうした会合が多くあればよいと思う。市職員が資料説明、進行すべき。
- ・市議会議員、区長が住民の意見を吸い上げる仕組みが必要。
- ・市の現状報告までなので、市の考えを聞きたい。

#### ○将来不安に対する意見

- ・将来が不安。

#### ○その他の意見

- ・使いたい人の掘り起しが必要。
- ・個人の意見を聞いても使わなければ意味がない。
- ・サポートする人が必要。民生委員の活用。ボランティア輸送、元気な人が他人を乗せる仕組みの検討。
- ・行政サービスの選択と集中が必要。

---

#### 注釈

※1 ハブ&スポーク…交通の中心となる拠点を自転車の車輪の中心にある車軸（ハブ）、そこから各方面に向かっていく路線を車軸から延びる鉄の棒（スポーク）になぞらえて、バスを同時刻に中心地（ハブ）に集め、乗り換えが完了したら、一斉に各方面へ発車させる方法